

「問答連」電子版について

文字通りのパンデミックが地球規模で起っています。世界各国においては様々な取り組みが行われなんとか新型コロナウイルスの蔓延を食い止めようとしています。十分な成果が現れているように思えません。とりわけわが国の対応は、「マスク二枚の配布」が噴飯モノであることを改めていうまでもなく、後手後手の感があります。また、経済と命を天秤にかけるような政策的な誤りがあったようにも見えます。

一方で、「今は事態を収拾することが先決で政府の批判をするときではない」との意見もあります。しかし、全国民が一丸となって取り組むことの怖さは、「一億火の玉となって」であろうと、「一億総懺悔」であろうと明治以降の中で何度となく見てきた光景です。こうした状況であればこそ、個々の人間が自分の考えを表現し他人の考えに耳を傾けること、すなわち「対話」することがいかに大切であるかということはいわなければならぬと思います。

5月から開始する予定で計画を整えた第六期哲学カフェは、コロナの蔓延で世話人の力ではゲストや参加していただく皆さんの安全を保障することが難しいと判断し中止を決定しました。しかし、先の状況を勘案した上でなんとか「哲学カフェ問答連」を予定通り開催することはできないかと思案してきました。

その上で、各自が在宅しながらインターネット上対話することが可能ではないと考え新たに「電子版問答連」の瓦版を発行しご案内することとしました。なお、従来参加していただいた方の中には、デジタル・デバイスによって今回はその環境が整わない方もおいでになると思います。誠に申し訳ないことだと思えますが可能な限り従来の「瓦版」において事後報告の形になるのですがお届けしたいと思っています。

なおインターネット上で使用するツールはZOOMというシステムを使いたいと思います。使用方法については別項お知らせします。

哲学カフェ 第六期の予定

(全て二時から四時まで)

一回 五月二三日

オリンピックと近代スポーツ

平尾 剛 さん(ゲスト)

二回 六月二七日

哲学カフェの意味

永井良和さん(世話人)

三回 七月二五日

危機の時代をどうとらえるか

大江矩夫さん(世話人)

四回 八月二二日

わたしとわたしたち

野崎康夫(世話人)



五回(特別講座) 九月頃(日程未定)

ケア労働とベーシックインカム

山森 亮さん(ゲスト)

第一回

オリンピックと

近代スポーツ



平尾 剛 さん(ゲスト)



新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、2020年東京オリンピック・パラリンピック(以下「東京五輪」)が延期された。史上初の開催延期に、巷間ではウイルス禍と相まってやや過剰な報道が散見されるが、私は冷やかな目でこの成りゆきを見守っている。

というのも、私はこのたびの新型コロナウイルスの蔓延拡大に関係なく、オリンピックのあり方に異議を唱えてきたからである。

2017年11月に連載中のコラムで東京五輪は返すべきであると書いた。オリンピックは巨大公共事業の口実であり、国民の税金を堂々と私物化するための体のよい名目となっていること。国民統制、監視強化、ナショナリズムの動員など、資本家や権力者によって蹂躪されていて、社会的弱者に見向きもしないこと。オリンピックの名の下に横行する不平等や不正義に触れ、声を上げずにはいられなかった。

理由はもう一つある。それはスポーツの価値の変容である。

スポーツとは本来、選手に人格的成長を促す。アスリートは、身体の可能性の限界を引き上げるプロセスにおいて人としての成長を遂げる。プロスノーボーダー

テリエ・ハーコンセンが「自発的創造性」と呼ぶスポーツの本質は、ここにある。そして観衆は、鍛錬によって培われたパフォーマンスを目の当たりにして、いわく表現しがたい興奮を享受する。



勝利や報酬はあくまでも方便である。それらは目指されるものとしてあるだけで、本質ではない。仕事や日常生活とは一線を画した「非日常的空間」において、いわば「人間の可能性」を現出させるのがスポーツの本質である。今や肥大化した商業主義および競争主義によつてそれが損なわれており、そのシンボルが五輪なのである。

スポーツとは何か。スポーツはこれからどうなっていくのかという問いについて、東京五輪に関する問題を巡りつつ、元アスリートという立場から話をさせていただきたい。

「ZOOMの使い方」について

インターネット上でご参加いただくには次の手順で事前の作業をお願いします。

参加していただくためには、PC（コンピュータ）またはスマホ（アンドロイドでもアップルでも可）をご準備ください。PCの方は、マイク、ウェブカメラとWEBカメラをご用意ください。

準備ができましたら、開催日の前日（第一回の場合は五月二三日金曜日）までに左記のアドレスまでにメールを送付してください。

開催当日の一時までに、「招待メール」を送付させていただきます。

すでにPCにZOOMソフトがインストールされている場合は、メールに記載されているアドレスをクリックしていただければ参加可能となります。そうでない場合は、アドレスをクリックしていただければソフトをインストールしないで参加できる手順が示されます。この際、「サインアップは無料です」との表示が出ますが無視する形で進んで頂いて、ひたすら「会議に参加する」ことを選択してください。

スマートフォンでの参加をご希望される方は、ZOOMアプリがインストールされていることが必須となります。事前にお済ませください。

参加していただく場合それなりの設定をしておくことで「匿名」とすることが可能です。

当日1時からテストのために約30分程度ホスト局を開設しておきます個人設定にご利用ください。



mojyaking @ hotmail . co . jp



本文には

- ①「お名前」当日は匿名可ですができれば本名を)
- ②「哲学カフェに参加します」のみで結構です。



右の新書の著者でもある山森さんから「電子問答連」にメッセージを頂きました。「1970年代のイギリスのworking classの女性たちがベーシックインカムを要求した歴史について、紹介させて頂いて、現在の日本のケア労働の置かれた状況を考えていくにあたってベーシックインカムという切り口から何が見えてくるかを皆さんと一緒に考えていければと考えています」

哲学カフェ【問答連】のご紹介

【1】「哲学」について…これまでの著名な哲学者の論を学習したり吟味したりするのはなく、哲学的問題を通して他者の意見に耳を傾けること、自分の意見をもう一度見詰めなおすことなどの一連の実践を「哲学」と呼んでいます。

【2】必要なことは唯一誠実に話すことだけが、参加者には課せられる義務だと考えています。例えば、「ヘーゲルの弁証法においては…」などの言い方ではなく、できるかぎり自分の言葉で話すことを求めています。

【3】紙媒体の「瓦版」は、下記のURLからPDFとしてダウンロードしていただくか、カフェと雑貨の店「ムーレック」にて配布しております。